



## 第59回愛知県社会人バドミントン選手権大会

第59回愛知県社会人バドミントン選手権大会が全日本シニア愛知県予選会を兼ねて1月14日、緑スポーツセンターにおいて男女単・混合の2種目が、21日(日)に稲永スポーツセンターにおいて男女複が行われた。コロナ禍以降で初めて複数種目の出場が可能となり、多くの選手が参加した。

### ●一般男子シングルス

寺井彪真  
(トヨタ自動車)

2

21-11  
21-18

0

毛利柗光  
(豊田自動織機)

1ゲームの立ち上がり、寺井選手の繰り出すネットプレーは、相手の動きを遅らせる。毛利選手もチャンスに仕掛ける糸口を探るも、堅実な守備につかまり、あるいは、ミス誘われ、寺井選手がしっかりペースを握り、1ゲームをとる。

2ゲーム目に入り、毛利選手は、ショットに対応をし始めたかのように、ラリーをつなぎ競った展開に。ただ、点を取り合いながらも、時に、相手のチャンスでも決めさせない堅い守備で、寺井選手がリードを保ちながら終盤に。要所でクロススマッシュでペースを取って試合を優位に進め、2ゲーム目で優勝を決めた。



寺井彪真選手

### ●一般女子シングルス

吉田菜那  
(豊田通商)

2

21-17  
21-13

0

蘭沙也可  
(豊田通商)

第1シード・第2シードが順調に勝ち上がった同チーム内対戦による決勝。先手をとったのは、吉田選手。前の速いタッチから、ドリブンのロブを織り交ぜ、速いラリー展開で揺さぶる。蘭選手も流麗なフットワークで、コートをかばう。吉田選手をラウンド側に追い込みながら、シャトルを散らして対抗。しかし、吉田選手が後ろに下げられるラリーに堪えながら、チャンスで決める。前半のリードをキープして、1ゲームをとる。2ゲーム目も同じ展開で進む。けがで実戦を離れていた蘭選手に対し、2ゲーム目のペースを落とさなかった吉田選手が、攻めのラリーを重ね、勝利。



吉田菜那選手

### ●一般混合ダブルス

鈴木陵麻・鈴木仁見  
(はりーあっぷ)

2

21-14  
15-21  
21-18

1

駒田直也・駒田実可  
(Shuttle Mates・はりーあっぷ)

1ゲーム目は、鈴木ペアが、順調に点を重ねる。ミックスの定石、男子後ろのトップ&バックを維持し、ゲーム後半もアタックをかけ、一気にゲームを取る。

2ゲーム目になり、駒田ペアも、相手女子選手を下がらせ、フォーメーションを崩す配球をし、リードする。鈴木ペアも、ドライブなどを使い中盤で追いつくが、足がとまり、つなぎでもミスがでる。最後は突き放した形で駒田ペアが2ゲーム目を取る。

ファイナルゲームに入っても流れは変わらない。相手の揺さぶりを駒田ペアがよくしのぎ、鈴木ペアのミスを誘う。18-12と駒田ペアがリードし優勝が見えたところで、鈴木ペアが最後のギアを入れる。フォーメーションを崩し、強打ではなく後ろへの配球・クロスへの配球、要所でのアタックで着実に加点し流れを呼び込み、逆転で優勝を決めた。

(左) 鈴木仁見選手  
(右) 鈴木陵麻選手

●一般男子ダブルス

鈴木陵麻・深尾淳  
(はりーあっぷ)

2

21-19  
16-21  
21-16

1

順当に第1シード・第2シードによる決勝戦。1ゲーム目から両ペアのスピード感溢れる好ゲームとなる。特にはりーあっぷペアのネット前への詰めが早い。相手もサーブレシーブのプッシュを警戒していたが、最後は粘り勝ちではりーあっぷペアが取る。2ゲーム目の出足優位ははりーあっぷペアだったが、次第にトヨタペアも強烈なスマッシュで反撃。はりーあっぷペアのミスが続き、トヨタペアが逆転し2ゲーム目を取る。

ファイナルゲームは、低く速いドライブで攻めるはりーあっぷペアと、強烈なスマッシュのトヨタペアの意地と意地のぶつかり合いで大接戦となった。スーパーレシーブでマッチポイントをつかんだはりーあっぷペアが最後の連続スマッシュで優勝を決めた。

河辺颯真・大羽航正  
(トヨタ自動車)



(左)鈴木陵麻選手 (右)深尾淳選手

●一般女子ダブルス

鈴木ゆうき・植村理央  
(豊田通商)

2

21-12  
23-21

0

同チーム対戦の決勝となった。1ゲーム目は、鈴木・植村ペアが終始安定したプレーで取る。

2ゲーム目序盤は、佐藤・蘭ペアのリードでゲームを進めるが、鈴木・植村ペアは時折効果的にハイクリアーをいれてチャンスを窺い逆転につなげる。そのままリードを広げるかと思われたが、イージーミスや攻撃に精彩を欠き、19-19の同点。次ラリーの切り返しのショットがサイドラインを割り、ついに逆転される。手に汗を握る一進一退のセッティングだったが、佐藤・蘭ペアのサーブミスとその直後のロングサービスへのスマッシュがネットにかかり、あっけなくゲームオーバーとなった。

佐藤冴香・蘭沙也可  
(豊田通商)



(左)鈴木ゆうき選手 (右)植村理央選手

●年代別シングルス

男子30歳以上

矢野嵩也(SMAGAN)

2

21-13  
21-13

0

甲斐圭太(デンソー)

一般でも勝ち上がれる実力を持つ矢野選手が、速いタッチで堅実に相手を回して優勝。

男子35歳以上

杉崎雄一(Hiiragi)

2

21-12  
19-5

0

竹内裕詞(KOKACARE)

竹内選手が誇る堅い守りを崩すかのように、低い弾道を交えながら根気良くシャトルを散らし、要所で攻撃をする杉崎選手が、最後までペースを落とさずに優勝。

男子40歳以上

立松幹浩(東海C.)

2

21-12  
13-13

0

多久島一慶(紫電会)

高い球で後ろに追いやり、相手にペースを握らせない立松選手らしい戦いを初戦からやり続け、長いラリーの多かったこの種目を制する。

男子45歳以上

中島正人(貴船)

2

21-11  
21-13

0

下島直樹(フレスカ)

高い打点から、鋭角なエースショットを左右に打ち分けた中島選手が、体力勝負を勝ち上がってきた下島選手を退けて優勝。

男子50歳以上

安井憲司(ATOM)

2

21-18  
21-15

0

大塚英一(シャトルまかせ)

両者互角に練られたラリーを展開するも、攻勢になると連続して打ち続ける強さを見せた安井選手が優勝。

(広報委員 中村圭吾 鈴木勝男)



特集

# 明日へ駆ける



## 第32回 全国小学生バドミントン選手権大会

12月22日から26日の日程で、全国小学生バドミントン選手権大会が沖縄県那覇市、豊見城市(とみぐすくし)にて開催されました。愛知県からは男女団体メンバー 12名、個人戦シングルス10名、ダブルス13組の総勢39名の選手が南国沖縄へ飛び立ちました。

団体戦は男女ともにベスト16。去年は男女共に優勝したため、他都道府県は打倒愛知を掲げ向かってきます。年10回以上の強化合宿や練習会でレベルアップを図ってきましたが、男女ともに3回戦敗退という悔しい結果となってしまいました。個人戦は、ベスト8以上にシングルス4名、ダブルス6組が入る大健闘でした。シングルスもダブルスも、県強化で練習してきたコンタクトポイント技術が有効に働いた成果だと思います。

団体戦のリベンジ、個人戦ベスト8入賞者数の倍増を目指し、既に小学生連盟強化は来年度に向けて始動しています。今後の活躍をご期待ください。  
(小学生連盟強化委員長 小林宏也)



男子団体メンバー



女子団体メンバー

## 令和5年度 全国高等学校選抜バドミントン大会 東海地区予選

学校対抗戦 優勝

男子 岡崎城西

女子 名経大市邨

寒風吹く年末12月25日～27日の3日間にわたり、一宮市総合体育館いちい信金アリーナで東海選抜が開催された。東海4県の個人各種目上位2名(組)と学校対抗上位3校ずつが参加し、熱戦が展開された。

個人戦男子は単複共に静岡の勝又(加藤学園)が際立った活躍を見せた。単は決勝まで全てストレートで圧倒し、日吉と組んだ複も1回戦こそ市邨の馬場・榎に1ゲーム目を取られ苦戦するが、その後は危なげなく勝ち上がった。女子は愛知の市邨と岐阜の県岐商が強さを見せた。単の決勝は伊藤(市邨)と安福(県岐)の対戦で、長いラリーを重ねながらファイナルゲームにもつれる接戦を安福が制した。複は準決勝が向井・清田(市邨)と安福・外山(県岐)、伊藤・阿保(市邨)と白川・後藤(県岐)の対戦で共に県岐が勝ち、決勝・3決ともに同校対決となった。個人戦で他県の後塵を拝した愛知県勢であったが、学校対抗戦では悔しさを晴らし、男子は岡崎城西、女子は名経大市邨が揃って優勝を果たした。男子準決勝の県岐商戦は、2つの複と1単までの全てがファイナルゲームにもつれる接戦であった。特に1単は1ゲーム目を取った後2ゲーム目を18本で落とした城西後藤が、気落ちすることなく粘り強くファイナルゲームを取り返し、その勢いのまま三石が2単を取って決勝に進んだ。決勝は2複がファイナルゲームで競り負けたものの、他が危なげなくカバーして優勝を決めた。女子も準決勝の県岐商戦が事実上の決勝とも言えた。個人戦準決勝と同じ組み合わせの1複を市邨は落とすが、2複の稲垣・岡島の市邨1年生ペアが個人準優勝の後藤・白川ペアに競り勝つ金星を挙げる。勢いは止まらず、1単伊藤、2単岡島がストレートで勝ち難しい試合を制した。三重皇皇館との決勝は準決勝の疲れも見え苦戦するが、3-2で勝ちきった。

全国選抜は3月24日から28日滋賀県大津市で実施される。出場する岡崎城西、名経大市邨両校の選手たちの活躍を期待したい。

(高体連 大村悠介)



岡崎城西



名経大市邨

## 第2回 東海ジュニアオープンバドミントン選手権大会

昨年度に引き続き、2回目の開催となる中学生の東海ジュニアオープンバドミントン選手権大会が11月25日、26日に守山スポーツセンターで実施された。愛知・岐阜・三重・静岡各県の新人戦単複上位8人(組)ずつが参加した。

リーグ戦後、上位2つが決勝トーナメントに進むという形式で行われたが、愛知県のおよそ半分の選手が勝ち上がった。しかも、どの種目も準決勝からは本大会の予選会となった県新人戦で激闘を繰り広げた選手同士の再戦であった。県予選大会で敗れた者はリベンジに燃えながら、より激しく、より粘り強く、より長いラリーで試合の組み立てに工夫を重ねていて、最後の1ポイントまで勝負の行方が分からない試合ばかりであった。結果、男子は県予選大会と上位3名(組)が同じ順位となったが、その差は明らかに小さくなっていて感じる。女子単は県予選大会で3位だった宮崎が、準決勝で同学年熊谷、決勝で県予選会優勝者の大串を立て続けに破り、下剋上優勝を果たした。上位を2年生が占める中で1年生ながら活躍する選手もいて、全体として愛知県の中学生の層の厚さを知ることができた。来年度さらに上の舞台での活躍に期待したい。(広報 大村悠介)

	男子		女子	
	単	複	単	複
優勝	山本権利(市邨中)	江崎大晟・稲垣遥翔(市邨中)	宮崎結舞(市邨中)	
準優勝	伊藤大馳(高蔵寺中)	深田朔玖・平井賢志(ウイスタリア)	大串心々奈(市邨中)	
第3位	山本翔大(市邨中)	伊藤源征・近藤アタラ(市邨中)	熊谷南虹(市邨中)	二反田凜花・佐藤彩乃(Be strong) 井上梨梅・松久保ひかり(大里東)

## バドミントンAICHIフェスタ

令和6年1月8日、名古屋市北スポーツセンターにおいて、バドミントンAICHIフェスタを開催しました。

この催しは指導委員会が中心になり、バドミントンの普及のため、初心者にはまずは出会い、触れる機会を、愛好家には更なる魅力や価値を感じてもらい、加えて競技者、コーチ・指導者の質の向上も目指すという多目的なイベントです。

会場内を無料体験エリアと有料エリアに分け、無料体験エリアでは「エアバドミントン」「テニピン」「ターゲットウォール(的当て)」などを体験し、初心者はもちろんベテラン経験者まで様々な人が楽しんでいました。有料エリアにはジュニア選手及び指導者が60名集まりました。午前中は、オリンピックで現在は豊田通商の佐藤冨香コーチがジュニア選手たちを熱く指導し、午後からは実際に佐藤コーチと対戦し、オリンピック相手に日ごろの練習の成果を発揮したジュニア選手たちは充実感に溢れていました。同時に、指導者講習会も行われました。講師に、はりーあつぷジュニアの中口監督をお招きし、デンマーク視察から得た最新の指導トレンドを実技を交えてご指導いただきました。参加した指導者は今までの理論を一掃する新しい指導方法にふれることができ、大変勉強になった様子でした。また、ヨネックス様のご協力により最新ラケットがレンタルされ、ジュニア選手から大人まで思い思いに試打をすることができました。最後は全員で記念撮影し閉会しました。

今後は市町村連盟加入のどこかの市町村で毎年行う予定です。是非、来年のフェスタに皆さん、ご参加ください。(広報委員長 浅井淳)



勝つための本物

**GOSEN®**  
www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社 / TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741

スポーツごころを世界に。

**YONEX®**



# ★愛知のホープ★

わたなべ せれな  
渡邊 世怜菜 (大里東ジュニア)



小学1年生の4月からバドミントンを始めました。

両親の真さん・仁美さんはバドミントンの実力者で、チームのメインコーチでもあります。兄ふうがさん(愛知県強化選手)姉かれんさんとともにバドミントン一家で育ちました。兄姉のおかげで高学年、中学生の練習を間近で見て学べる環境も幸いして、小さいころからシャトル感覚と対人能力は他の選手よりも秀でていました。これまでの主な成績は、2年生のABC大会県優勝、全国ABC大会ベスト16、そして、現在4年生の今、全国ABC大会優勝、全国小学生大会準優勝に輝き、チーム4人目のU13ナショナル代表選手に選出されました。プレーの特徴は3つ。①「対人プレー」が上手なところ、②「相手の足を止めるプレー」ができること、③「ここの一番の集中力とメンタルの強さ」です。チーム内でナショナル代表選手になった歴代の先輩選手たちと比べると、異質なタイプなので、全国優勝は予想外でした。今後は弱点のフィジカルを鍛えて、また礼儀・マナーを大切に、真に応援される選手を目指し練習に励みます。チームとしては、一丸となって日本一奪還を支えていきます。がんばれ!!せれな!! (大里東ジュニア代表 長東康佑)

## フットワーク

この欄は、連載のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けしています。

今回は

### 大同特殊鋼

を紹介します。

「日々になる、特殊な鋼」大同特殊鋼です。東海市にある大同特殊鋼知多工場から全国で活動しており、昨年、創部50周年を迎えた歴史あるチームです。バドミントン部のホームページがあり、選手の紹介やブログ、試合結果など随時更新していますので是非、ご覧くださいね。さて、昨年は「大同特殊鋼バドミントン部の年」といってもよいくらいの好成績を収めました。2019年にS/JリーグⅢに降格。その後、新型コロナウイルス感染症の蔓延でリーグ戦が開催されなくなり、以降4年間復帰の道が閉ざされていましたが、2023年2月に再開されたS/JリーグⅢ2022で優勝し、勢いそのままに迎えた11月のS/JリーグⅡ2023唐津大会で優勝して、念願だったトップリーグ昇格を果たすことが出来ました。この良い結果が残せたのは、日頃よりご支援・ご声援いただいている皆様のお陰です。心から感謝申し上げます。



2024年は日本トップを争う更に厳しい戦いになりますが、先ず目標としてS/Jリーグ8強入りを掲げ、一つでも多くの勝利に向かって日々鍛錬していきます。また地域貢献活動として行っている練習会も継続的に実施していきます。「一緒に練習したい!」というクラブや学生の皆さん、是非ともご連絡ください。(HP内応援メッセージから)これからも大同特殊鋼の活躍にご期待ください!そして応援宜しくお願いいたします!

(大同特殊鋼バドミントン部監督 小川優)

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

はりーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

バドミントンプロショップ  
リーダーズ グループ

SINCE1979

(有)リーダーズ

代表取締役 菱田修光

TEL・FAX(052)703-2767

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

# 市町村だより

## 知多市スポーツ協会バドミントン連盟

令和6年1月7日(日)メディアス体育館ちたにて、29チーム58人が参加し、新春恒例の混合ダブルス大会を実施しました。

新春の挨拶がてら親睦を第1としたのですが、どの試合もいざ始まると勝負魂に火がつくのか、熱戦になっていました。また同時にジュニアのダブルスの試合も実施し、31チーム62人の参加がありました。

種目	優勝	準優勝	3位	
混合ダブルス 松(1部)	鈴木 陵麻 鈴木 仁見 (岡田BC)	伊藤 正和 佐藤加奈子 (岡田BC)		
混合ダブルス 竹(2部)	早川 太森 遠山 梓 (つつじ)	切手 剛 河村 夢来 (岡田BC)		
混合ダブルス 梅(3部)	松本 永遠 松原 晴可 (一)	阪本 正次 田中 直美 (つつじ)	浅沼 博 浅沼久美子 (新田クラブ)	中山十三子 鈴木 綾乃 (とことこ)
混合ダブルス 桜(4部)	伊藤 史玖 安藤 香波 (とことこ)	柿本 康一 永田 友紀 (とことこ)	高橋 則貴 五十畑亜衣 (とことこ)	
6年男子 ダブルス	高橋翔太郎 竹之下大悟 (知多J)	井平 有優 豊田 快斗 (八幡バド)	山田 蓮心 細貝 果布 (八幡バド)	
6年女子 ダブルス	賢生 彩友 山口向日葵 (知多J)	濃野 光沙 池山 紗弓 (新知J)		
5年男子 ダブルス	堀越 直人 濃野 晃斗 (新知J)	浅田 弥隼 西 玲杜 (知多J)	片山 結陽 安藤蒼一郎 (知多J)	
5年女子 ダブルス	早川 莉秀 立岩 希衣 (新知J)	岡田 実夏 梅村胡々渚 (八幡バド)		
4年男子 ダブルス	今井 陽馬 堀越 優希 (新知J)	恒川 遼太 工藤 充剛 (八幡バド)		
4年女子 ダブルス	青木 咲璃 本田衣千花 (旭北J)			

## 速報

バドミントンS/Jリーグでジェイテクトが  
リーグ初制覇!  
トナミ運輸との激闘を制す!  
詳しくは公式HPをご覧ください

西三河のバドミントン専門店

# モリ球マ

豊田市山之手3丁目100番地  
☎ <0565> 29-0055

## 審判連載 ルールブック講座

### 第11回 「プレーの継続、 不品行な振舞い、罰則②」 池上 信之

競技規則第16条第3項プレーの中断について

(1)「プレーヤーの責任でない状況によって必要とされるならば、主審は必要と思われる間、プレーを中断することができる」プレーヤーの責任ではない状況とは下記の通りです。

- ①ラケット、ウェア、靴などが破損した
- ②パートナーの振ったラケットでケガをした
- ③鼻血が出た
- ④コンタクトがはずれた
- ⑤ケガをして、医師などの診察を受けるとき
- ⑥大会運営規程第27条の停電、火災、地震などが起きた時

(2)特別の状況下では、レフェリーが主審に中断の指示をすることがある。

(3)中断した場合は、そこまでのスコアはそのまま有効となり、プレーを再開するときは、その点数から始める。ただし、その日のうちに再開できず後日行われるマッチは最初(ラブオールプレー)からやり直すことになります。

さて、よく『セット』という言葉を使うプレーヤーがいますが、バドミントンには『セット』という言葉はありません。正しくは『ゲーム』です。注意してください。

## 編集後記

今年の夏はフランスのパリでオリンピックが開催されます。日本開催となった東京2020では大きな期待を背負った日本勢でしたが、混合ダブルス「渡辺・東野ペア」の銅メダル1つという結果でした。パリ2024選考レースは佳境に入り、まだ代表選手は決まっていませんが、S/Jリーグなどで真近に見ていた選手が代表としてオリンピック出場となればとても嬉しいことです。

桃田選手は選ばれるのか、山口茜選手は大丈夫なのか、女子ダブルス代表はどのペアなのか、これからもS/Jリーグや国際大会から目が離せません。

(広報副委員長 鈴木勝男)

連絡  
投稿

〒453-0851  
名古屋市中村区畑江通6-14  
広報委員長 浅井 淳(あさいじゅん)

公式サイトアドレス  
<https://www.badminton-aichi.com/>  
Eメールアドレス  
info@badminton-aichi.com

